

平成28年度

社会福祉法人本楯たちばな会

## 事業計画

事業所名

軽費老人ホーム(ケアハウス)「ふるさと」  
本楯保育園

# 目 次

1	本楯たちばな会基本方針	1 ページ
2	施設の概要	
	(1) ケアハウス ふるさと	2 ページ
	(2) 本楯保育園	3 ページ
3	職員配置	
	(1) ケアハウスふるさと・本楯保育園	4 ページ
4	組織図	
	(1) ケアハウスふるさと・本楯保育園	5 ページ
5	運営方針及び方法	
	(1) 軽費老人ホーム(ケアハウス)	6 ページ
	(2) 本楯保育園	10 ページ
6	会議	
	(1) 法人 及び ケアハウスふるさと・本楯保育園	11 ページ
7	研修	
	(1) 法人 及び ケアハウスふるさと	12 ページ
8	年間・月行事予定	
	(1) 軽費老人ホーム(ケアハウス)年間	13 ページ
	(2) 軽費老人ホーム(ケアハウス)月間	14 ページ
	(3) 本楯保育園	15 ページ
9	収支予算書	
	(1) 平成28年度予算(案) 本部	16 ページ
	(2) 平成28年度予算(案) ケアハウスふるさと	17 ページ
	(3) 平成28年度予算(案) 本楯保育園	19 ページ
	(4) 平成28年度予算(案) 全社	21 ページ

## 1. 基本方針

本楯たちばな会は軽費老人ホーム(ケアハウス)「ふるさと」を開設運営をすることを目的とし、平成12年法人創設以来、ケアハウス事業開始後今年度の平成28年度で16年目に入る。

今年度は、新たな保育園事業に着手し3年目となるが、少子高齢化という逆境の中での船出であったが、去年は定員には僅かに満たなかったものの、3才未満児の申込を多く受けることができ、数値的には事業計画をほぼ達成することができた。しかし、3年目を迎えるにあたり、改めて当法人保育園としてのカラーを出していき、生き残りをかけて取り組んで行かなければならない年度であり、また新たな体制作りの布石の年でもある。完全給食の実施による食育と、かねてから子供たちと高齢者のかかわりによる相乗効果を何より重視した運営を目指してきた当法人としては、働きながら子育てする方々のサポーターとして、これまで見のがされ対応されなかったことへも積極的に取り組み、生き残りをかけてチャレンジしていかなければならない。

また、ケアハウスにおいては、施設の機能として求められている役割は、徐々に重度化に対応できるよう求められている。回りを見渡せばサービス付高齢者住宅の乱立等により、確かに入居の申込状況は減少し、そして居室の稼働率も悪化してきているが、当施設としては数少ない措置施設として、これまで以上に制度と体制が許す限りの対応を模索しながら取り組んでいかなければならない。今後も地域包括支援センター等と連携をとりながら更なる臨機応変さで対応するよう検討していかなければならない。

しかし、どんな場合においてもその根本には常に設立当初からの理念、いわゆる事業の維持及び安定をはかり、そして利用者の方々も巻き込みながら共に地域に貢献していくことを決して忘れず取り組む姿勢を維持していかなければならない。

保育園事業と既存のケアハウスの健全な運営と地域との関わりを深めることにより、ひいてはこの本楯地区を元気にしていけるような地域貢献を果たしていくことを目指す。

以上を今年度の活動方針とし、これら目的達成のために役職員が一丸となって取り組み、目標の達成を目指していく。

## 2. 施設の概要1

	ケアハウス ふるさと
	軽費老人ホーム(ケアハウス) (介護予防)特定施設入居者生活介護事業所
施設の位置	酒田市豊原字大坪37番地
敷地面積	5,086.00㎡
建物面積	2,879.27㎡
定員	50名
構造	鉄筋コンクリート一部3階建て
設備	居室・・・44室 (個人用、トイレ・台所付) 居室・・・3室 (夫婦用、トイレ・台所付) 食堂・娯楽室 事務室・相談室・厨房 診察室・談話室 宿直室 男子浴室・女子浴室・個別浴室 冷暖房設備(全館) 冷房設備(一部) 放送設備 エレベーター(地上3階)

## 2. 施設の概要2

	本楯保育園
	保育所
施設の位置	酒田市本楯字前田65番地の1
敷地面積	2, 853. 337㎡(酒田市からの借地)
建物面積	614. 47㎡
定 員	60名
構 造	木造平屋建て
設 備	保育室…3室 乳児室…2室 ホフク室…2室 調乳室…2室 トイレ園児用…2ヶ所 遊戯室・教材室・遊具倉庫・沐浴室・医務室・調理室・食品庫・事務室・機械室 トイレ職員用…1ヶ所 冷暖房設備・暖房設備・冷房設備 放送設備

### 3. 職員配置

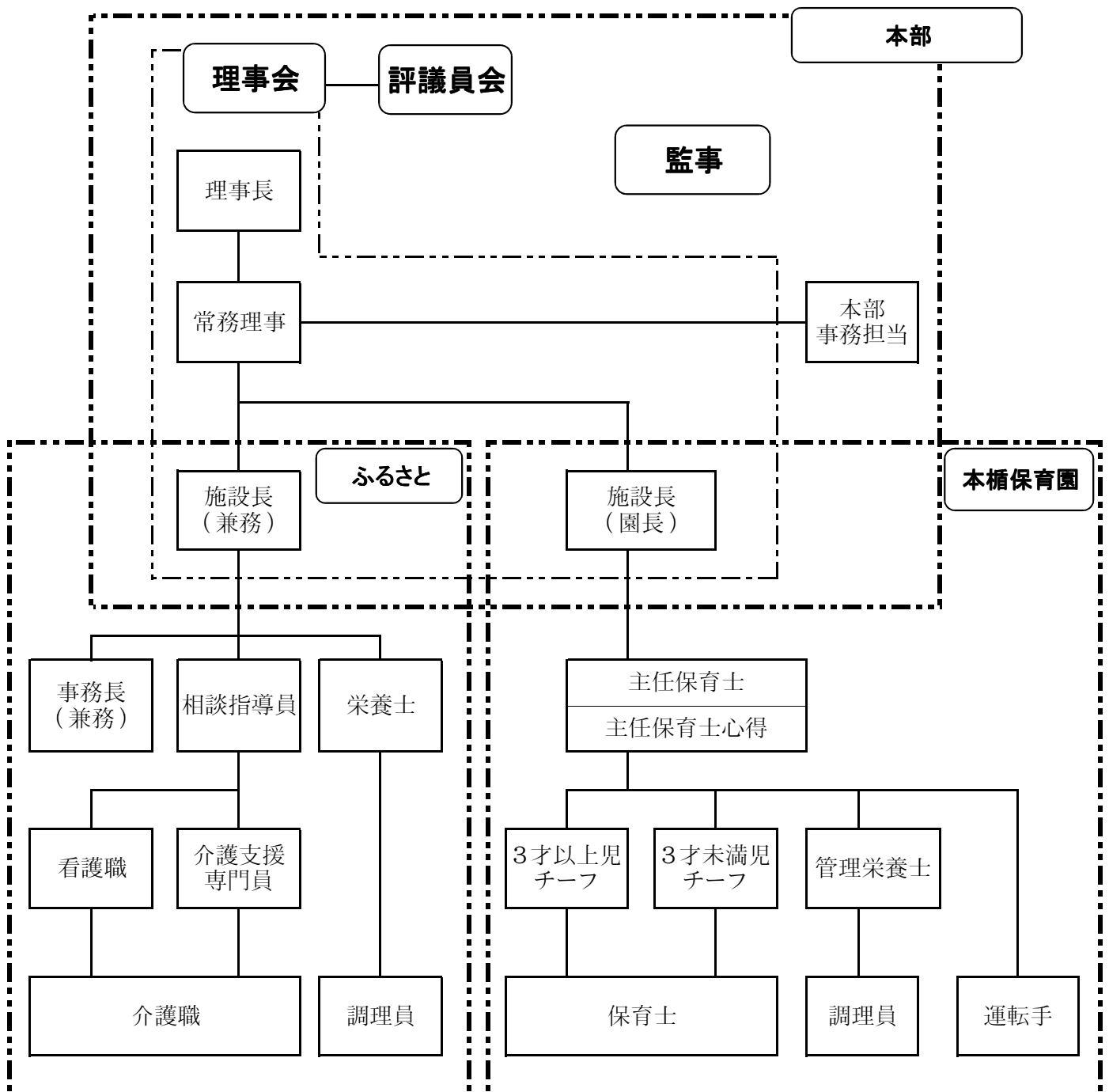
( )内は兼務職再掲 平成28年3月末現在

	軽費老人ホーム(ケアハウス)
施設長(事務長兼務)	1
生活指導員	1
看護職員	1
介護員	6
栄養士	1
調理員	4
機能訓練指導員(看護職兼務)	(1)
介護支援専門員(介護職兼務)	(1)
※(本部事務担当・臨時)	1
合計	15

平成28年3月末

	本楯保育園
施設長(園長)	1
主任保育士	1
保育士	9
保育士(臨時雇用)	1
看護師(准看護師・臨時)	1
保育助手(臨時雇用)	1
管理栄養士	1
調理員	1
運転手(臨時雇用)	1
合計	17

#### 4. 組織図



## 5. -1 運営方針及び方法

### 【ケアハウス ふるさと】

- ① 入所者のために、施設として果たすべき役割を全うし、その限界に挑戦するとともに、各関連機関と密接なつながりを構築し、情報ネットワークを作り上げ、より安心できる体制をつくりあげる。
- ② 入所者のプライベートを尊重し、緊急時の対応については絶対の信頼を入所者から得られるようにする。
- ③ 利用者の自立性を高めるための自治会を、日常生活における交流はもとより、より地域の活動の中でも独立した自治会として参画し、地域貢献も含めた活動をするようにする。
- ④ ボランティアの受け入れや、隣接する学校や地域との連携をはかり、人の出入りを多くし、賑やかな施設になるよう活動する。
- ⑤ 様々な小グループのサークル活動をさらに企画し、立ち上げ、有識者からの協力を得ながら、入所者の日常生活の活性化をはかる。
- ⑥ 食材は極力地元から直接購入をはかり、安全で美味しい食事を安定的に提供し、地域への還元をはかる。
- ⑦ 職員全員の接遇・知識・技術の向上を常にはかり、資質の向上をめざす。
- ⑧ 常に、安定した経営・運営をこころがけ、施設としての信頼はもとより社会的信頼を得るよう努力する。

### 【継続及び新たな取り組みについて】

- ⑨ 特定施設入居者生活介護事業所として、更なる研究と研鑽をはかり、介護保険制度との整合性及び医療との連携を図りながら、老人福祉施設のありかた、そして新規事業への取組の模索を継続する。
- ⑩ 介護保険制度で取り上げられている「介護予防事業」について、既の実施している事業とすり合わせを行い、軽費老人ホームとして取り組むべきことを模索する。
- ⑪ 競合乱立する高齢者優良賃貸住宅との差別化を図り、措置施設である軽費老人ホームの優位性を明確にするとともに、安定した入居稼働率を確保する為の手段を試行しながら、経営を安定させる。



## 5. - 2 ケアハウス部門別運営方針及び方法

### 【生活相談員】

#### 活動方針及び方法

##### 1. 居室稼働率の向上

###### 【目的】

待機者を確保し、入退居の流れをスムーズに行う事で安定した収入につなげる。

###### 【方法・頻度】

- ①法人内の事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、ホームページへの宣伝。施設の特徴をアピール出来るチラシづくり。(月初め、随時)
- ②夫婦部屋の稼働を上げるため、単身利用でも柔軟に対応する。
- ③各事業所への訪問機会を増やし情報収集に努める。

##### 2. 一般入居者との関わりを増やす。

###### 【目的】

入居者の思いを知り、1日でも長く本人が望む生活が送れるよう支援する。

###### 【方法・頻度】

- ①居室訪問や入居者と会話をする時間を作り、不安解消・処遇改善を図る。
- ②必要に応じ、家族及び保証人との定期面談を実施し適切な関係機関へ繋げる。
- ③外部サービスを利用している入居者のサービス担当者会議に参加し情報共有する。

### 【介護支援専門員】

#### 活動方針及び方法

###### 【目的】

入居者の高齢化に伴う介護の重度化がすすむ中でも、自立心をもち安心してふるさとの生活を送ることが出来る。

###### 【方法・頻度】

- ①自立にむけた取り組みを支援するために、適切なアセスメント評価をおこない、ケアプランの作成をおこなう。確実な介護保険更新の手続きを実施する
- ②定期的なケアカンファレンスを実施し迅速で適切な情報把握と支援策の検討
- ③アクティビティを取り入れ、個人にあった運動や作業に取り組み、閉じこもり防止につなげる
- ④主治医との連携を図り体調管理につなげる
- ⑤認知症ケアを充実する。また家族との連携も図っていく
- ⑥口腔ケアへの取り組みを充実し、嚥下機能の維持を目指す

## 【看護部門】

### 活動方針及び方法

#### 【目的】

入居者の高齢化に伴う介護の重度化がすすむ中でも、自立心をもち安心してふるさとの生活を送ることが出来る。

#### 【方法・頻度】

- ①自立にむけた取り組みを支援するために、適切なアセスメント評価をおこない、ケアプランの作成をおこなう。確実な介護保険更新の手続きを実施する
- ②定期的なケアカンファレンスを実施し迅速で適切な情報把握と支援策の検討
- ③アクティビティを取り入れ、個人にあった運動や作業に取り組み、閉じこもり防止につなげる
- ④主治医との連携を図り体調管理につなげる
- ⑤認知症ケアを充実する。また家族との連携も図っていく
- ⑥口腔ケアへの取り組みを充実し、嚥下機能の維持を目指す

## 【介護部門】

### 活動方針及び方法

#### 1.アクティビティケアの充実

#### 【目的】

喜びや楽しみを見つけ出し、生き生きとした日常生活を送って頂く

#### 【方法・頻度】

- ①個々に合った活動、趣味を見つける
- ②楽しめる企画の提供(余暇活動、年間行事、地域行事、保育園との交流等)
- ③入居者間だけでも活動出来る様な環境作り

#### 2.個別性のある支援と関わり

#### 【目的】その人らしい生活を支える

#### 【方法・頻度】

- ①入居者との関わりを多くもち、個々のニーズを把握する
- ②多職種間の連携、個々のニーズを共有し、統一したケアを提供する
- ③不安や不満、悩みを打ち明けられる関係づくり

## 【厨房部門】

### 活動方針及び方法

#### 1. 厨房内の環境を整える

##### 【目的】

長く厨房職として働いてもらえるように、業務内容の見直しや個人負担(ストレス等)を少しでも軽減出来る環境作りを目指す

##### 【方法・頻度】

- ①これまでの作業動線の見直し
- ②厨房会議を開催し職員同士の意見交換の場を設ける
- ③様々な環境設定を試してみる

#### 2. 献立の見直し(マンネリ化からの脱却)

##### 【目的】

入居者にとって楽しみとなる食事を提供する為にマンネリ化している献立からの脱却を目指す

##### 【方法・頻度】

- ①選択食、行事食等の充実に向けて検討する
- ②嗜好、残菜調査を適宜実施し、献立作成時の基礎資料とする
- ③商品の特性、価格、購入方法を検討する
- ④どのような場合でも、衛生管理に十分に注意し食中毒の発生防止に努める

## 5. - 3 保育園の運営方針及び方法

### 【本楯保育園】

1. 児童福祉法に基づき、「保育に欠ける」乳幼児の保育を行う。保育は次の保育方針の基で行う。
  - ①一人一人の子どもの家庭環境・発達過程を配慮しながら養護及び教育を一体とした保育を行い、乳幼児期にふさわしい生活の場を豊かに作りあげる保育を行う。
  - ②本楯ならではの恵まれた自然環境と温かい家庭環境の中で、伸びやかな育ちをする子どもに、地域特有の縦割り関係の充実を図りながら、地域の人々との交流をすすめる。
  - ③保育に関する専門性を活かし、家庭との緊密な連携の下、保護者と共に子どもを育てる営みに愛情豊かに関わり、子育てを支援していく。
  - ④地域の人々や関係機関と共に子育て支援をし、子育てに優しい地域をつくっていく。
  - ⑤味覚の育ち、食の楽しみ、食を営む力を目的とした食育計画の完全給食を実施する。
2. 乳幼児は、生涯にわたる人格形成にとってきわめて重要な時期。その時期の子ども達が様々な人と出会い、関わり、心を通わせながら心身ともに健やかに成長していくよう、また子ども達が心地よく生き生きと幸せに過ごすことのできる、最もふさわしい生活の場をつくりあげられるよう研鑽を積み、資質向上のための取り組みをする。

#### < 保育部門 >

- ①共に学び合う環境を醸成し保育園の活性化を図り、職員一人一人の資質の向上、保育の質及び専門性の向上につなげていく。
- ②常に研修を必要とする専門性の高い仕事であることを職員一人一人が自覚し、主体的に学ぶ意思を持って取り組む。

#### < 調理部門 >

- ①乳幼児期にふさわしい食生活の展開と子ども自身が主体的に食育活動に参画できるように計画を立てる。
- ②特別な配慮を必要とする子どもに対しては栄養士の専門性を活かして対応する。
- ③食物アレルギーがある子どもに対しては、主治医の指示の下、食事を提供する。
- ④保育園での食事の様子や食育の取り組みを伝え、家庭での食に対する関心を高めていく。

## 6. 会議

法人運営基本方針及び施設運営方針の目的の達成、及び業務の円滑な運営をはかるため、次の会議を設置する。

会議名	開催日			出席対象役職名	備考
	5月	9月	3月		
① 理事会	5月	9月	3月	理事・監事	法人運営方針決定他定款に定める議決決定
② 評議員会	5月	9月	3月	理事長・評議員・監事	法人運営にかかる諮問
③ 運営会議	毎月(他必要時随時開催)			理事長・施設長他全職員	施設運営にかかる協議・決定他
④ 入所判定会議	申込み時随時			施設長・事務長・指導員・栄養士	入退所にかかる決定他
⑤ 介護員会議 職員会議	毎月(他必要時随時開催)			施設長・事務長・指導員・介護員	業務・入所者または園児の処遇にかかる協議・決定他
⑥ 厨房会議	毎月(他必要時随時開催)			施設長・栄養士・調理員	業務・入所者処遇(給食関係に限る)にかかる協議・決定他

## 7. 研修

役職員の知識・技術向上をはかるため、各関係機関主催の研修会・学会に出きる限り参加するようにし、健全な経営を目指すとともに最終的には入所者処遇の向上を目指す。参加者についてはその都度参加資格及び実績等をふまえた上で協議・検討し決定していく。

研修名	主催	対象役職名	備考
① 役職員研修会	県社協・経営者協・他	理事・監事・施設長	開催日未定
② 施設長研修会	県社協・経営者協・他	施設長	開催日未定
③ 指導員研修会	県社協・経営者協・他	指導員	開催日未定
④ 介護職員研修会	県・県社協・経営者協	介護員	開催日未定
⑤ 厨房職員研修会	県・県社協・他	栄養士・調理員	開催日未定
⑥ 学会	各関係学会	全職員	開催日未定

8-1 ケアハウス・年間行事予定

年間行事		実施予定日	目標・目的
4月	花見 防災訓練	中旬 未定	野外に出掛け桜を見ながら春を感じてもらい気分転換を図る 危機感を持って行い急な災害に対応できるよう、防災設備の確認と訓練を行う
5月	本楯祭り・奴振り	5月3日	地元の祭に参加し、昔ながらの伝統行事を見学し地域との交流を図る
	酒田祭り	5月20日	
6月	チューリップ見学	上旬～中旬	外の爽やかな空気を吸い、散歩気分です季節のチューリップを皆さんと一緒に見学し楽しむ
	生バンド演奏会	下旬	近くの吹奏楽愛好会の人達が懐かしい歌など生バンド演奏してくれる
	地区運動会	上旬	地域の方とのふれ合いを持ち、みんなで楽しく体を動かしながら交流を持つ
	平田植木祭り	上旬	外に出て外の空気をすい、植木を見て気分転換を図る
7月	詩吟教室	中旬	地域の方々がふるさとの皆さんの作品を歌にして披露してくれる
	あじさい見学	下旬	気分転換を兼ねて季節の花を眺めながら風情を楽しむ
8月	七夕飾り	上旬～中旬	協力して飾りや短冊作りを行いながら入居者同士の交流を図る
	ドライブ	中旬	外気に触れ季節感をあじわい、心身のリフレッシュを図る
9月	本楯保育園夏祭り	下旬	地域住民、園児との交流を楽しむ
	みんなの夏祭り	中旬	地域の住民として大きな行事に参加し、入居者同士協力し作品作りや、出店等を盛り上げる
10月	そばツア－	下旬	外に出掛け皆さんで外食を楽しむ
	本楯地区敬老会	中旬	地域の会に参加し、一地域住民として一緒にお祝いをする
11月	ふるさと敬老会	中旬～下旬	特別行事食とし、お互いの敬老を祝う
	本楯保育園運動会	下旬	園児と共に競技を楽しむ
12月	ふるさと秋の大運動会	中旬	チームで協力し競技に参加する楽しみと、体を動かす事で体力アップ、閉じこもり防止を図る
	紅葉狩りドライブ	中旬	紅葉を見ながら、ドライブを楽しむ
12月	防災訓練	未定	危機感を持って行い急な災害に対応できるよう、防災設備の確認と訓練を行う
	本楯コミュニティ祭り	11月3日	自分の作品や書画を展示し地域行事に参加すると共に見せてみる事で自信に繋げる
12月	鳥海小学習発表会	上旬	歌の会での成果をみんなの前で発表し達成感と喜びを感じる
	ふるさと秋祭り	中旬	ふるさとで収穫した食材と携わった入居者に感謝し、秋の味覚を楽しみながら入居者同士の交流を深める
12月	合唱コンサート	中旬	マリージュニア合唱団の子供達が歌を披露してくれる
	ふるさとクリスマス会	下旬	冬景色の中みんなと一緒にテーブルを囲みクリスマスの雰囲気を楽しみながら楽しい時間を過ごす
1月	餅つき	12月30日	入居者とスタッフが協力し年末恒例の餅つきを行う
2月	初詣	上旬	神社にお参りし一年間の無病息災を願う
	獅子舞	上旬	伝統的な行事を見学する
2月	豆まき	2月3日	年男・年女の協力を得て豆をまき、厄を払う
3月	ひな祭り	3月3日	雛人形を飾り皆さんの健康を願う

8-2 ケアハウス・月間行事予定

月間行事		実施回数	目的・目標
1	なごみの会	随時	昔培った腕前を生かし細仕事を生きがいや、育てる喜びに繋げる
2	買い物ツアー	月2～3回	必要物品の自己管理と気分転換を図る
3	清水屋送迎	月2～3回	自己責任を持って行動範囲を広げ開放感と買い物を楽しむ
4	お茶会	月1回	自分達でお茶を点て、和やかにお茶を嗜む
5	歌の会	月2回	楽しく懐かしい歌を歌いながら閉じこもり予防と廃用症候群予防の効果を図る
6	書道教室	月1回	精神統一し、満足のいく作品を書き上げる達成感や作品を鑑賞し合ってほじよい刺激を受ける
7	短歌サークル	月1回	心に思っている事や目で見えた事など五感をフル回転させ言葉にする事で表現力を養う
8	自治会	月1回(月末)	生活のレベルアップに繋がるように意見を出し合い住みやすいふさをつつていく
9	カラオケ会	月2回	思いきり好きな歌をみんなの前で歌うことで適度な緊張感やストレス発散に繋げる
10	おやつ作り	月1回	作業を協力して行いながら、作って食べるという楽しさを味わう、また料理の知恵を出し合う
11	ビデオ鑑賞	月1回	閉じこもり防止
12	ドライブ	随時	いつもと違う場所に出掛けたり食事を摂ることで生活に潤いをあたえる
13	外食	随時	
14	元気体操	月2回	ボールなどを使用し楽しく体力増進に繋げ心のリフレッシュを図る
15	ずんどご体操	毎週土曜日	筋力低下と閉じこもり予防
16	移動販売	月2回	外出が難しい方の為に業者の方が来所し、食品や日用品を販売
17	体重測定	毎月第1土曜日	
18	血圧測定	随時	入居者の健康状態のチェック、体調や健康に関するのアドバイスや相談
19	上田診療所送迎	毎週火曜日	上田診療所定期受診の方の送迎
20	市内医療機関送迎	毎週水曜日	市内医療機関の受診の送迎



### 8. - 3 保育園年間行事

月	主 な 行 事
4月	・入園式 ・保護者会総会・クラス懇談会 ・お花見会 ・畑づくり
5月	・内科健診 ・眼科健診 ・交通安全教室 ・お祭りごっこ ・苗植え
6月	・地区運動会 ・保育参観 ・耳鼻科健診 ・歯科検診
7月	・親子遠足 ・七夕まつり ・プール開き ・野菜の収穫 ・夏祭り
8月	・プール納め
9月	・運動会 ・梨狩り
10月	・内科健診 ・交通安全教室 ・さつまいも堀り 祖父母参観
11月	・人形劇観劇 ・親子餅つき会 ・蟻虫検査
12月	・クリスマス会 ・感謝会
1月	・お正月お楽しみ会
2月	・豆まき ・交通安全教室 ・ちびっこ相撲大会
3月	・ひなまつり ・お茶会 ・卒園式

\*毎月、誕生会・避難訓練・身体計測を実施する。

\*保育園バスでの園外活動や「うらら」「ほなみ」「ふるさと」との交流活動は随時実施する。

\*月一の日曜日に、地域における異年齢児交流事業(園開放事業)として「げんきっこ広場」(親子で遊ぼう会)を自由参加で実施する。

平成28年度 予算書 (案)  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

平成28年 4月 1日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	[ 34,190,000]	[ 32,756,310]	[ 1,433,690]	
居宅介護料収入	34,190,000	32,756,310	1,433,690	
(介護報酬収入)				
介護報酬収入	29,500,000	28,053,716	1,446,284	
介護予防報酬収入	1,100,000	1,115,424	△ 15,424	
(利用者負担金収入)				
介護負担金収入(公費)	670,000	667,073	2,927	
介護負担金収入(一般)	2,800,000	2,796,161	3,839	
介護予防負担金収入(公費)	40,000	41,160	△ 1,160	
介護予防負担金収入(一般)	80,000	82,776	△ 2,776	
老人福祉事業収入	[ 81,352,000]	[ 81,841,802]	[△ 489,802]	
措置事業収入	( 10,000,000)	( 10,069,600)	(△ 69,600)	
事務費収入	10,000,000	10,069,600	△ 69,600	
運営事業収入	( 71,352,000)	( 71,772,202)	(△ 420,202)	
管理費収入	15,552,000	15,660,000	△ 108,000	
その他の利用料収入	31,800,000	31,810,366	△ 10,366	
補助金事業収入	24,000,000	24,301,836	△ 301,836	
保育事業収入	[ 72,224,600]	[ 71,671,710]	[ 552,890]	
保育所運営費収入	68,361,600	67,588,860	772,740	
私的契約利用料収入	623,000	617,850	5,150	
その他の事業収入	( 3,240,000)	( 3,465,000)	(△ 225,000)	
補助金事業収入	3,240,000	3,465,000	△ 225,000	
借入金利息補助金収入	[ 738,150]	[ 885,580]	[△ 147,430]	
経常経費寄附金収入	[ 80,000]	[ 79,200]	[ 800]	
受取利息配当金収入	[ 5,000]	[ 5,479]	[△ 479]	
その他の収入	[ 2,134,000]	[ 2,207,721]	[△ 73,721]	
受入研修費収入	14,000	14,000	0	
利用者等外給食費収入	1,920,000	1,925,950	△ 5,950	
雑収入	200,000	267,771	△ 67,771	
事業活動収入計(1)	190,723,750	189,447,802	1,275,948	
支出				
人件費支出	[ 113,116,000]	[ 112,759,670]	[ 356,330]	
職員給料支出	70,800,000	70,692,867	107,133	
職員賞与支出	18,600,000	18,449,680	150,320	
非常勤職員給与支出	7,300,000	7,308,695	△ 8,695	
退職給付支出	1,660,000	1,652,100	7,900	
法定福利費支出	14,756,000	14,656,328	99,672	
事業費支出	[ 29,953,000]	[ 30,507,054]	[△ 554,054]	
給食費支出	17,600,000	17,642,770	△ 42,770	
介護用品費支出	60,000	48,675	11,325	
診療・療養等材料費支出	3,000	1,278	1,722	
保健衛生費支出	40,000	47,916	△ 7,916	
被服費支出	30,000	97,922	△ 67,922	
教養娯楽費支出	440,000	435,422	4,578	
日用品費支出	260,000	266,162	△ 6,162	
保育材料費支出	600,000	639,132	△ 39,132	
水道光熱費支出	7,600,000	7,275,196	324,804	
燃料費支出	0	1,687	△ 1,687	
消耗器具備品費支出	1,600,000	1,898,141	△ 298,141	
保険料支出	220,000	221,075	△ 1,075	
賃借料支出	160,000	154,727	5,273	
教育指導費支出	140,000	142,700	△ 2,700	
車輛費支出	950,000	1,263,396	△ 313,396	
雑支出	250,000	370,855	△ 120,855	
事務費支出	[ 24,670,000]	[ 24,886,443]	[△ 216,443]	
福利厚生費支出	690,000	448,135	241,865	
職員被服費支出	50,000	117,051	△ 67,051	
旅費交通費支出	200,000	193,830	6,170	
研修研究費支出	120,000	125,102	△ 5,102	
事務消耗品費支出	490,000	484,988	5,012	
印刷製本費支出	100,000	115,560	△ 15,560	
水道光熱費支出	9,700,000	8,710,002	989,998	
修繕費支出	1,000,000	2,314,444	△ 1,314,444	

平成28年度 予算書 (案)  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

平成28年 4月 1日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
通信運搬費支出	395,000	388,160	6,840	
会議費支出	30,000	23,803	6,197	
広報費支出	20,000	10,000	10,000	
業務委託費支出	3,950,000	3,949,961	39	
手数料支出	95,000	209,106	△ 114,106	
保険料支出	890,000	882,396	7,604	
賃借料支出	1,760,000	1,758,259	1,741	
租税公課支出	0	20,000	△ 20,000	
保守料支出	4,700,000	4,655,205	44,795	
諸会費支出	300,000	290,105	9,895	
雑支出	180,000	190,336	△ 10,336	
支払利息支出	[ 2,644,300]	[ 2,861,996]	[△ 217,696]	
事業活動支出計(2)	170,383,300	171,015,163	△ 631,863	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	20,340,450	18,432,639	1,907,811	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等補助金収入	[ 7,720,000]	[ 7,720,000]	[ 0]	
設備資金借入金元金償還補助金収入	7,720,000	7,720,000	0	
設備資金借入金収入	[ 0]	[ 23,800,000]	[△ 23,800,000]	
施設整備等収入計(4)	7,720,000	31,520,000	△ 23,800,000	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	[ 16,572,000]	[ 15,780,000]	[ 792,000]	
固定資産取得支出	[ 500,000]	[ 23,144,701]	[△ 22,644,701]	
建物取得支出	0	22,768,861	△ 22,768,861	
器具及び備品取得支出	500,000	375,840	124,160	
施設整備等支出計(5)	17,072,000	38,924,701	△ 21,852,701	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 9,352,000	△ 7,404,701	△ 1,947,299	
その他の活動による収支				
収入				
サービス区分間繰入金収入	[ 1,678,937]	[ 1,769,721]	[△ 90,784]	
その他の活動収入計(7)	1,678,937	1,769,721	△ 90,784	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	[ 9,084,000]	[ 9,084,000]	[ 0]	
積立資産支出	[ 1,610,000]	[ 1,601,028]	[ 8,972]	
退職給付引当資産支出	1,610,000	1,601,028	8,972	
サービス区分間繰入金支出	[ 1,678,937]	[ 1,769,721]	[△ 90,784]	
その他の活動支出計(8)	12,372,937	12,454,749	△ 81,812	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 10,694,000	△ 10,685,028	△ 8,972	
予備費支出(10)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	294,450	342,910	△ 48,460	
前期末支払資金残高(12)	[ 37,769,451]	[ 37,426,541]	[ 342,910]	
当期末支払資金残高(11)+(12)	38,063,901	37,769,451	294,450	

平成28年度 予算書 (案)  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

軽費老人ホーム  
平成28年 4月 1日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	[ 34,190,000]	[ 32,756,310]	[ 1,433,690]	
居宅介護料収入	34,190,000	32,756,310	1,433,690	
(介護報酬収入)				
介護報酬収入	29,500,000	28,053,716	1,446,284	
介護予防報酬収入	1,100,000	1,115,424	△ 15,424	
(利用者負担金収入)				
介護負担金収入(公費)	670,000	667,073	2,927	
介護負担金収入(一般)	2,800,000	2,796,161	3,839	
介護予防負担金収入(公費)	40,000	41,160	△ 1,160	
介護予防負担金収入(一般)	80,000	82,776	△ 2,776	
老人福祉事業収入	[ 81,352,000]	[ 81,841,802]	[△ 489,802]	
措置事業収入	( 10,000,000)	( 10,069,600)	(△ 69,600)	
事務費収入	10,000,000	10,069,600	△ 69,600	
運営事業収入	( 71,352,000)	( 71,772,202)	(△ 420,202)	
管理費収入	15,552,000	15,660,000	△ 108,000	
その他の利用料収入	31,800,000	31,810,366	△ 10,366	
補助金事業収入	24,000,000	24,301,836	△ 301,836	
借入金利息補助金収入	[ 738,150]	[ 885,580]	[△ 147,430]	
経常経費寄附金収入	[ 80,000]	[ 79,200]	[ 800]	
受取利息配当金収入	[ 2,000]	[ 2,151]	[△ 151]	
その他の収入	[ 1,035,000]	[ 1,044,129]	[△ 9,129]	
受入研修費収入	5,000	5,000	0	
利用者等外給食費収入	930,000	929,200	800	
雑収入	100,000	109,929	△ 9,929	
事業活動収入計(1)	117,397,150	116,609,172	787,978	
支出				
人件費支出	[ 58,600,000]	[ 58,285,486]	[ 314,514]	
職員給料支出	39,600,000	39,551,653	48,347	
職員賞与支出	9,900,000	9,824,480	75,520	
退職給付支出	940,000	936,900	3,100	
法定福利費支出	8,160,000	7,972,453	187,547	
事業費支出	[ 20,970,000]	[ 20,640,149]	[ 329,851]	
給食費支出	13,700,000	13,679,738	20,262	
介護用品費支出	60,000	48,675	11,325	
教養娯楽費支出	290,000	282,482	7,518	
日用品費支出	70,000	67,367	2,633	
水道光熱費支出	5,000,000	4,699,698	300,302	
燃料費支出	0	1,687	△ 1,687	
消耗器具備品費支出	1,200,000	1,215,361	△ 15,361	
保険料支出	100,000	98,540	1,460	
賃借料支出	150,000	142,847	7,153	
車輛費支出	350,000	352,754	△ 2,754	
雑支出	50,000	51,000	△ 1,000	
事務費支出	[ 20,640,000]	[ 21,243,862]	[△ 603,862]	
福利厚生費支出	450,000	201,313	248,687	
職員被服費支出	20,000	16,339	3,661	
旅費交通費支出	20,000	13,750	6,250	
研修研究費支出	20,000	6,900	13,100	
事務消耗品費支出	320,000	323,187	△ 3,187	
水道光熱費支出	9,700,000	8,710,002	989,998	
修繕費支出	500,000	2,243,878	△ 1,743,878	
通信運搬費支出	230,000	226,880	3,120	
広報費支出	20,000	10,000	10,000	
業務委託費支出	2,140,000	2,142,918	△ 2,918	
手数料支出	50,000	172,986	△ 122,986	
保険料支出	660,000	655,646	4,354	
賃借料支出	1,760,000	1,758,259	1,741	
租税公課支出	0	20,000	△ 20,000	
保守料支出	4,500,000	4,465,279	34,721	
諸会費支出	150,000	140,270	9,730	
雑支出	100,000	136,255	△ 36,255	
支払利息支出	[ 2,164,300]	[ 2,371,328]	[△ 207,028]	
事業活動支出計(2)	102,374,300	102,540,825	△ 166,525	

平成28年度 予算書 (案)  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

軽費老人ホーム  
平成28年 4月 1日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	15,022,850	14,068,347	954,503	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等補助金収入	[ 7,720,000]	[ 7,720,000]	[ 0]	
設備資金借入金元金償還補助金収入	7,720,000	7,720,000	0	
設備資金借入金収入	[ 0]	[ 23,800,000]	[△ 23,800,000]	
施設整備等収入計(4)	7,720,000	31,520,000	△ 23,800,000	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	[ 13,956,000]	[ 13,164,000]	[ 792,000]	
固定資産取得支出	[ 0]	[ 22,768,861]	[△ 22,768,861]	
建物取得支出	0	22,768,861	△ 22,768,861	
施設整備等支出計(5)	13,956,000	35,932,861	△ 21,976,861	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 6,236,000	△ 4,412,861	△ 1,823,139	
その他の活動による収支				
収入				
サービス区分間繰入金収入	[ 0]	[ 62,250]	[△ 62,250]	
その他の活動収入計(7)	0	62,250	△ 62,250	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	[ 7,080,000]	[ 7,080,000]	[ 0]	
積立資産支出	[ 660,000]	[ 654,072]	[ 5,928]	
退職給付引当資産支出	660,000	654,072	5,928	
サービス区分間繰入金支出	[ 878,937]	[ 907,471]	[△ 28,534]	
その他の活動支出計(8)	8,618,937	8,641,543	△ 22,606	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 8,618,937	△ 8,579,293	△ 39,644	
予備費支出(10)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	167,913	1,076,193	△ 908,280	
前期末支払資金残高(12)	[ 16,680,113]	[ 15,603,920]	[ 1,076,193]	
当期末支払資金残高(11)+(12)	16,848,026	16,680,113	167,913	

平成28年度 予算書 (案)  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

保育所  
平成28年 4月 1日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
保育事業収入	[ 72,224,600]	[ 71,671,710]	[ 552,890]	
保育所運営費収入	68,361,600	67,588,860	772,740	
私的契約利用料収入	623,000	617,850	5,150	
その他の事業収入	( 3,240,000)	( 3,465,000)	(△) 225,000	
補助金事業収入	3,240,000	3,465,000	△ 225,000	
受取利息配当金収入	[ 3,000]	[ 3,328]	[△ 328]	
その他の収入	[ 1,099,000]	[ 1,163,592]	[△ 64,592]	
受入研修費収入	9,000	9,000	0	
利用者等外給食費収入	990,000	996,750	△ 6,750	
雑収入	100,000	157,842	△ 57,842	
事業活動収入計(1)	73,326,600	72,838,630	487,970	
支出				
人件費支出	[ 53,100,000]	[ 53,038,852]	[ 61,148]	
職員給料支出	31,200,000	31,141,214	58,786	
職員賞与支出	8,700,000	8,625,200	74,800	
非常勤職員給与支出	5,900,000	5,889,695	10,305	
退職給付支出	720,000	715,200	4,800	
法定福利費支出	6,580,000	6,667,543	△ 87,543	
事業費支出	[ 8,983,000]	[ 9,866,905]	[△ 883,905]	
給食費支出	3,900,000	3,963,032	△ 63,032	
診療・療養等材料費支出	3,000	1,278	1,722	
保健衛生費支出	40,000	47,916	△ 7,916	
被服費支出	30,000	97,922	△ 67,922	
教養娯楽費支出	150,000	152,940	△ 2,940	
日用品費支出	190,000	198,795	△ 8,795	
保育材料費支出	600,000	639,132	△ 39,132	
水道光熱費支出	2,600,000	2,575,498	24,502	
消耗器具備品費支出	400,000	682,780	△ 282,780	
保険料支出	120,000	122,535	△ 2,535	
賃借料支出	10,000	11,880	△ 1,880	
教育指導費支出	140,000	142,700	△ 2,700	
車輛費支出	600,000	910,642	△ 310,642	
雑支出	200,000	319,855	△ 119,855	
事務費支出	[ 3,770,000]	[ 3,432,439]	[ 337,561]	
福利厚生費支出	240,000	246,822	△ 6,822	
職員被服費支出	30,000	100,712	△ 70,712	
旅費交通費支出	20,000	16,630	3,370	
研修研究費支出	100,000	118,202	△ 18,202	
事務消耗品費支出	160,000	161,801	△ 1,801	
印刷製本費支出	100,000	115,560	△ 15,560	
修繕費支出	500,000	70,566	429,434	
通信運搬費支出	160,000	161,280	△ 1,280	
会議費支出	10,000	10,260	△ 260	
業務委託費支出	1,800,000	1,797,197	2,803	
手数料支出	40,000	35,472	4,528	
保険料支出	230,000	226,750	3,250	
保守料支出	200,000	189,926	10,074	
諸会費支出	130,000	131,000	△ 1,000	
雑支出	50,000	50,261	△ 261	
支払利息支出	[ 480,000]	[ 490,668]	[△ 10,668]	
事業活動支出計(2)	66,333,000	66,828,864	△ 495,864	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,993,600	6,009,766	983,834	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	[ 2,616,000]	[ 2,616,000]	[ 0]	
固定資産取得支出	[ 500,000]	[ 375,840]	[ 124,160]	
器具及び備品取得支出	500,000	375,840	124,160	
施設整備等支出計(5)	3,116,000	2,991,840	124,160	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,116,000	△ 2,991,840	△ 124,160	
その他の活動による収支				
収入				

平成28年度 予算書 (案)  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

保育所  
平成28年 4月 1日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	[ 2,004,000]	[ 2,004,000]	[ 0]	
積立資産支出	[ 950,000]	[ 946,956]	[ 3,044]	
退職給付引当資産支出	950,000	946,956	3,044	
サービス区分間繰入金支出	[ 800,000]	[ 800,000]	[ 0]	
その他の活動支出計(8)	3,754,000	3,750,956	3,044	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 3,754,000	△ 3,750,956	△ 3,044	
予備費支出(10)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	123,600	△ 733,030	856,630	
前期末支払資金残高(12)	[ 21,092,275]	[ 21,825,305]	[△ 733,030]	
当期末支払資金残高(11)+(12)	21,215,875	21,092,275	123,600	

平成28年度 予算書 (案)  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

本部  
平成28年 4月 1日

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動による収支				
収入				
事業活動収入計(1)	0	0	0	
支出				
人件費支出	[ 1,416,000]	[ 1,435,332]	[△ 19,332]	
非常勤職員給与支出	1,400,000	1,419,000	△ 19,000	
法定福利費支出	16,000	16,332	△ 332	
事務費支出	[ 260,000]	[ 210,142]	[ 49,858]	
旅費交通費支出	160,000	163,450	△ 3,450	
事務消耗品費支出	10,000	0	10,000	
通信運搬費支出	5,000	0	5,000	
会議費支出	20,000	13,543	6,457	
業務委託費支出	10,000	9,846	154	
手数料支出	5,000	648	4,352	
諸会費支出	20,000	18,835	1,165	
雑支出	30,000	3,820	26,180	
事業活動支出計(2)	1,676,000	1,645,474	30,526	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,676,000	△ 1,645,474	△ 30,526	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支				
収入				
サービス区分間繰入金収入	[ 1,678,937]	[ 1,707,471]	[△ 28,534]	
その他の活動収入計(7)	1,678,937	1,707,471	△ 28,534	
支出				
サービス区分間繰入金支出	[ 0]	[ 62,250]	[△ 62,250]	
その他の活動支出計(8)	0	62,250	△ 62,250	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,678,937	1,645,221	33,716	
予備費支出(10)	[ 0]	[ 0]	[ 0]	
当期資金収支差額合計				
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,937	△ 253	3,190	
前期末支払資金残高(12)	[△ 2,937]	[△ 2,684]	[△ 253]	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	△ 2,937	2,937	